

## 平成30年度各部の重点取組の取組結果

部(局)名	児童部
部(局)長名	中野 勝

### 【基本姿勢】

吹田市子ども・子育て支援事業計画に沿って、引き続き、幼児期の学校教育や保育、地域の子育て支援の量や質の向上を進める各事業を展開していきます。

最優先課題である待機児童の解消については、「待機児童解消アクションプラン」が最終年を迎える本年度、掲げた様々な方策を実現し目標を達成します。

さらに、昨年度策定しました子供の貧困対策に関する基本的な考え方をまとめた「吹田市子供の夢・未来応援施策基本方針」を踏まえ、すべての吹田の子供たちが夢と希望を持って成長していける地域社会の実現を目指し、子供の貧困対策に資する施策・事業を総合的に推進していきます。

### 【達成度について】

A：達成（設定した目標を達成することができた。）

B：一部達成（設定した目標の一部のみ達成することができた。）

C：未達成（目標達成に向け取り組んだものの、目標達成には至らなかった。）

### 【重点課題】

	重点課題	平成30年度 達成状況
1	待機児童解消の促進	B
2	公立保育所の円滑な民営化	A
3	子育て支援の充実	A
4	児童虐待の未然防止・早期発見と児童及び家庭への支援体制の充実	A
5	障がい児療育の推進	B
6	子供の貧困対策に関する事業の充実	A

部(局)名	児童部
-------	-----

重点課題 1	待機児童解消の促進
--------	-----------

全体の達成度
<b>B</b>
一部達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	子ども・子育て支援事業計画に基づいて、保育の需要に見合った保育の量を計画的に確保します。
---------------------	--

活動目標
私立保育所等の整備を行います。

具体的な取組実績
平成30年度中に保育所等3か所の整備を行い、180名分の入所枠を確保しました。また、平成30年度中に小規模保育事業所3か所の整備を行い、57名分の入所枠を確保しました。



達成目標
保育の質を低下させることなく平成31年4月1日の保育所待機児童を解消します。

達成状況	達成度
平成31年4月1日の保育所待機児童は、29人の見込みとなっています。(前年55人) なお、保育の質を低下させることがないように、公立保育所の保育士OBが新設園を巡回し、保育のアドバイスや保育状況の把握を継続的に行っています。	<b>B</b> 一部達成



<b>総合評価・総括</b>
<p>平成31年4月1日の待機児童解消については、平成31年4月開所予定の3か所の保育所が台風などの災害による工事の遅れにより、難しい状況となりましたが、6月以降に順次開所していく中で、達成できるものと考えております。</p> <p>保育の質の確保につきましては、引き続き巡回相談の強化を進めるとともに、保育士の確保や保育所等の負担軽減のための補助金の充実に努めています。</p> <p>待機児童解消を具体化するための整備計画については、開所が遅れているものを含めて、来年度も引き続き取組を進めてまいります。</p>

部(局)名	児童部
-------	-----

重点課題 2	公立保育所の円滑な民営化
--------	--------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	公立保育所の民営化を推進します。
---------------------	------------------

活動目標
移管した南保育園で引継ぎ保育を実施し、引継ぎ状況の確認を行うとともに、必要に応じて三者懇談会を開催します。
吹田保育園及び藤白台保育園で移管先事業者と合同保育を実施するとともに、岸部保育園及び西山田保育園を含めた4園において、三者懇談会を開催します。

具体的な取組実績
1年間の引継ぎ保育を実施し、引継ぎ状況の確認を行いました。また、2回の三者懇談会を開催しました。
吹田保育園及び藤白台保育園では、1年間の合同保育を実施しました。また、吹田保育園、藤白台保育園、岸部保育園及び西山田保育園では、それぞれ4回、3回、3回、3回の三者懇談会を開催しました。

達成目標
南保育園で、移管後も円滑な引継ぎを進めていきます。
吹田・藤白台・岸部・西山田保育園の円滑な移管への準備を進めます。

達成状況	達成度
引継ぎ保育を実施することで、移管後も円滑な引継ぎを着実に進めることができました。	A 達成
平成31年4月1日に吹田保育園及び藤白台保育園を移管します。岸部保育園及び西山田保育園では、三者懇談会の開催等を行いながら、円滑な移管への準備を進めています。	A 達成

総合評価・総括
公立保育所の民営化については着実に進めることができました。引き続き、円滑な民営化に取り組んでまいります。

部(局)名	児童部
-------	-----

**重点課題 3 子育て支援の充実**

全体の達成度  
**A**  
達成

目指すべき方向  
(中期的な目標) 安心して子育てができるよう「子ども・子育て支援事業計画」に基づく子育て支援サービスを充実します。

**活動目標**

公立保育所での一時預かり事業の実施箇所を1園増やします。

公立幼稚園全園において、長期休業中も幼稚園型の一時的預かり事業を実施します。

**具体的な取組実績**

平成30年5月に、新たに南千里保育園で一時預かり事業を実施しました。

公立幼稚園全園において、長期休業中の月曜から金曜の全日(12月29日から1月3日まで、地震・台風等による休業日除く)一時預かり保育を実施しました。

**達成目標**

南千里保育園において、一時預かり事業を実施し、提供量を増やします。

公立幼稚園全園において、夏休みなどの長期休業中も幼稚園型の一時的預かり事業を実施し、提供量を増やします。

達成状況	達成度
公立保育所での一時預かりについては、南千里保育園で実施することで3園から4園となり、提供量を増やすことができました。	A 達成
長期休業中及び水曜日の預かり保育事業をほぼ全日実施したことで、前年より提供日数を87日増やしました。	A 達成

**総合評価・総括**

幼稚園での一時預かりでは、平成30年度から公立幼稚園及び公立幼稚園型認定こども園全園において水曜日と長期休業中の一時預かりを実施し、保育園での一時預かりでは、実施園を1園増やし、保護者の断続的な就労の支援や育児負担軽減を図ることができました。

部(局)名	児童部
-------	-----

重点課題 4	児童虐待の未然防止・早期発見と児童及び家庭への支援体制の充実
--------	--------------------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	社会全体で児童虐待を防止する環境をつくり、児童の健全な育成を支援します。
---------------------	--------------------------------------

活動目標
児童虐待防止に向けて、関係機関等との連携強化を図る取組を推進します。
児童虐待を防止し、人権を守る意識を高める取組を推進します。

具体的な取組実績
児童虐待防止ネットワーク代表者会議及び実務者会議において、各機関の連携強化に係る取組や課題の共有、事例検討などの研修を行いました。また、個別ケース検討会議を開催し、関係機関と連携しながら支援を行いました。
11月の児童虐待防止推進月間に、親子関係をテーマに市民向けの講演会を開催し、50名の参加がありました。また、市内2か所で児童虐待防止を呼びかける街頭キャンペーンを実施し、啓発物品の配布を行いました。

達成目標
支援方針に沿った適切で円滑な役割分担と連携に努めるとともに、関係機関等へ児童虐待防止に関する研修を実施し、児童虐待事案への対応力向上に努めます。
児童虐待防止のための講演会や啓発物品の配布、Wリボンマークの普及等、啓発活動に積極的に取り組みながら、社会全体で子供を守る意識の向上に努めます。

達成状況	達成度
児童虐待防止ネットワーク会議を中心に関係機関と連携し、共同でリスクを評価して、支援方針を定め、適切な対応に努めました。また実務者を対象にロールプレイを含む実践的な児童虐待対応の研修会を開催し、対応スキルの向上を図りました。	A 達成
講演会の開催や啓発物品の配布のほか、市内の保育園、幼稚園等で児童虐待防止に関するポスター掲示を行うことで、社会全体で児童虐待を防止する意識を醸成しました。	A 達成

総合評価・総括
<p>児童虐待に対しては、関係機関が連携し、切れ目のない支援を行うことで支援を必要とする児童を早期に発見し、早期に対応することが重要です。本市では、虐待を受けている児童に対し、児童虐待防止ネットワークを中心に、関係機関が連携しながら、総合的に支援に取り組んでいます。</p> <p>また、講演会をはじめとしたさまざまな啓発活動を通し、市民の児童虐待の防止への意識を高め、社会全体でその対策に取り組んでいます。</p> <p>増え続ける児童虐待相談に対し、今後も引き続き、関係機関との連携を深めるとともに、専門家による助言・指導や研修会を通して、相談員のさらなるスキル向上に努めます。</p>

部(局)名	児童部
-------	-----

**重点課題 5 障がい児療育の推進**

全体の達成度  
**B**  
一部達成

目指すべき方向  
(中期的な目標) 障がい児が住み慣れた地域で安心して暮らせる社会づくりを進めます

**活動目標**

地域支援センターの外来相談・訓練の体制を強化し、地域療育事業の充実を図ります。

親子教室を充実し、配慮のいる児童や保護者への早期支援の推進を図ります。

**具体的な取組実績**

平成30年4月に、言語聴覚士（正職）1名を増員しました。

早期発見の支援事業として、生後10か月～1歳2か月の乳児とその保護者を対象とした親子教室を開室しました。

**達成目標**

相談から訓練までの待機期間の解消を目指します。

療育を必要とする児童とその保護者に、必要な時に適切な支援が行えるよう、親子教室の拡充を目指します。

達成状況	達成度
言語聴覚療法相談の待機期間については1か月程に縮小しましたが、作業療法相談については依然として6か月以上の待機が生じています。	<b>B</b> 一部達成
新たに開設した親子教室に10組の親子の参加があり、早期支援につながりました。	<b>A</b> 達成

**総合評価・総括**

地域支援センターの外来相談については、件数が年々増加しており、速やかに対応し訓練につないでいくために体制強化を図りましたが、さらなる体制整備が必要な状況です。親子教室については、早期支援の対象月齢や開催期間のさらなる充実を図り、さまざまな支援ニーズに対応できるよう取り組みます。今後も引き続き、相談支援体制や施策の充実にも努め、障がい児が住み慣れた地域で安心して暮らせる社会づくりを進めます。

部(局)名	児童部
-------	-----

重点課題 6	子供の貧困対策に関する事業の充実
--------	------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	「吹田市子供の夢・未来応援施策基本方針」に基づき、すべての部局の共通認識のもと、子供の貧困対策に資する施策の充実を目指します。
---------------------	---

活動目標
子供の貧困対策に資するあらゆる施策・事業について、その効果が最大限に発揮されるよう、すべての部局が連携・協力して取り組んでいきます。

具体的な取組実績
平成30年度は吹田市子供の貧困対策に関するワーキングチームの会議を3回実施し、子供の貧困対策に資する取組の状況や今後の展望を確認し、意見を交換しました。また、全職員を対象に「子供の貧困に関する研修会」を開催し、この問題に対する意識の醸成に努めました。

達成目標
関係部局との連携のもと、子供の貧困対策に資する施策・事業を総合的に推進します。

達成状況	達成度
「吹田市子供の夢・未来応援施策基本方針」に基づき、子供の貧困対策に資する事業の進捗管理を行い、関係部局と連携しながら施策・事業を進めました。	A
	達成

総合評価・総括
<p>「吹田市子供の夢・未来応援施策基本方針」のもと、吹田市子供の貧困対策に関するワーキングチームを中心に、関係部署が連携を図りながら、子供の貧困対策に資する施策・事業の推進に努めました。</p> <p>今後も引き続き、子供を取り巻く社会状況を注視しながら、子供の貧困についての共通認識を全庁的により醸成させていき、関係部局の連携を深めて、さらなる施策・事業の充実に向けてまいります。また、子供の貧困対策を「子ども・子育て支援事業計画」にも対応させ、体制も含め推進方策を検討して参ります。</p>